

2023年度 中長期事業計画



一般社団法人
日本パラダンススポーツ協会
Japan Para Dance Sport Association

Vision

「共生社会の実現」を目指して

私たちは、パラダンススポーツ競技のより一層の普及促進、競技水準の向上を図ると共に、人と人との多様性を尊重し、障害ある者が、精神的及び身体的な能力などを最大限発揮できる自由で公正な「共生社会」（インクルーシブな社会）の実現を目指しています。

Mission

- ① 国内パラダンススポーツの一層の普及促進と競技力向上
- ② 世界のパラダンススポーツ競技水準を超えて、Japanスタンダードの確立
- ③ パラリンピック正式種目を目指し、各国と共にパラダンススポーツ競技の普及促進を行う
- ④ パラスポーツへの理解、次世代育成、持続可能な世界（SDGs）へ貢献する

2023年度 中長期事業計画の骨子

1, 2022年度計画の確認

2, 2023年度計画の骨子

- ① WPDS公認国際大会開催を今後日本にて、定期的に開催し、より上位の国際大会開催を目標とするための第1歩として「TOKYO 2023パラダンススポーツ国際大会」を位置づける
- ② 選手育成と指導者育成についての基本の方針
 - ・WPDS 公認講習会への参加 選手・指導者の派遣
 - ・日本国内でのWPDS 水準の指導者講習会の開催
 - ・今後の競技選手の海外強化合宿への派遣体制
 - ・次世代育成プログラムの構築
- ③ 中長期事業計画に必須となる
 - ・組織強化の為の資金獲得への考え方
 - ・オフィシャルスポンサー獲得への考え方 → 長期的安定した組織運営資本体制の確立
 - ・JSC助成金活用の考え方を組織内にて共有し、コンプライアンス体制を含め強化する
 - ・各団体との協業・共催事業の提案

3, 2023年度 達成目標の確認

- ① TOKYO2023パラダンススポーツ大会の達成目標 →
 - ・目標 10ヶ国・選手 70~80人
 - ・大会スポンサーの獲得
- ② 組織力強化としての理事/役員体制への考え方 →
 - ・専門性ある人材の確保
 - ・理事、役員体制の明確化（役割・職務の明確化）
- ③ 組織力強化としての選手・指導者育成への考え方 →
 - ・国内選抜体制の構築
 - ・国際水準となる指導者育成
 - ・次世代構築

4, 2024年度 へ向けて

- ① 次世代選手層獲得への具体的提案（ジュニア層の開拓）
- ② 多様なダンス団体との交流
- ③ 世界水準の指導者育成プログラムの確立
 - ・WPDS 公認指導者講習会を日本で開催するための準備
 - ・WPDS 公認審判員育成への準備（費用・人材）

1, 2022年度計画の確認

2022年度作成 10ヶ年 基本スケジュール

	JPDSAの基本スケジュール	開催地	備考
2022年	世界のIPC競技大会へ選手派遣開始		
2023年	TOKYO2023 Para Dance Sport Championship 8月4日～6日 開催	東京 決定	国立代々木競技場 第1体育館
2024年	WPDS公認 Pan Pacific Asia championship 主催開催（予定）	東京（予定）	(2024パリ・パラリンピック)
2025年	WPDS公認 パラダンススポーツ世界選手権 主催開催（予定）	東京（予定）	
2026年	アジア・パラリンピックでの演技披露を目指す（予定）	愛知県	(2026アジア・パラリンピック)
2027年	WPDS公認 TOKYO2027 Para Dance Sport Championship 開催（予定）	東京（予定）	
2028年	WPDS公認 Pan Pacific Asia championship 主催開催（予定）	東京（予定）	(2028ロサンゼルス・パラリンピック)
2029年	WPDS公認 パラダンススポーツ世界選手権 主催開催（予定）	東京（予定）	
2030年	アジア・パラリンピック 参加を目指す		2030アジア・パラリンピック（予定）
2031年	WPDS公認 パラダンススポーツ世界選手権 主催開催（予定）	東京（予定）	
2032年	ブリスベン パラリンピック 正式種目参加を目指す		2032パラリンピック（予定）

2. 2023年度 中長期計画

	長期事業目標（2023年版）			2023年6月
年度	代表事業	選手強化事業	組織力強化事業	目指す目標
2023年	IPC WPDS 公認 TOKYO2023パラダンススポーツ国際大会（第1回） 8月4日～6日 国立代々木競技場 第1体育館	強化合宿 選考会・選抜会の実行	・指導者講習会	・選手育成 ・次世代強化選手の育成
	WPDS 公認 Pan Pacific Asia championship 大会（第1回） (申請中) 国立代々木競技場 第1体育館 開催を目指す	強化合宿 日本選手権大会の実行	・WPDS 公式講習会開催を目指す ・次世代プログラムの確立	・世界水準の指導者の育成 ・各カテゴリーごとの選手層の充実
2024年	WPDS 公認 TOKYO2025パラダンススポーツ国際大会（第2回） 国立代々木競技場 第1体育館 開催を目指す	各国への強化選手派遣 日本選手権大会の充実	・WPDS 公式講習会への指導者派遣	・世界水準の選手の育成 ・国内選手層の強化
	WPDS 公認 Pan Pacific Asia championship 大会（第2回）への参加 (愛知アジアパラリンピックへのアピール活動として)	年間を通した国際大会への恒常的選手派遣体制 日本選手権大会の充実	・WPDS 公式審判員の育成	・世界水準の審判員の輩出を目指す ・パラリンピック正式種目を目指す次世代の育成体制（6年計画）
2025年	WPDS 公認 TOKYO2027パラダンススポーツ国際大会（第3回） 開催を目標とする	年間を通した国際大会への恒常的選手派遣体制 日本選手権大会の充実	・JPDSAの公式審判員を各国競技会への派遣を目指す	・自国大会での自国審判員派遣を目指す ・パラリンピック正式種目を目指す強化選手の選定・次世代の育成体制
	WPDS 公認 Pan Pacific Asia championship 大会（第3回）への参加	年間を通した国際大会への恒常的選手派遣体制 日本選手権大会の充実	・	・Pan Pacific Asiaでの優勝者輩出を目指す
2026年	IWPDS 公認 TOKYO2029パラダンススポーツ国際大会（第4回） 開催を目標とする	年間を通した国際大会への恒常的選手派遣体制 日本選手権大会の充実		・世界選手権大会での優勝者輩出を目指す
	WPDS 公認 Pan Pacific Asia championship 大会（第4回）への参加	年間を通した国際大会への恒常的選手派遣体制 日本選手権大会の充実		・パラリンピック選考選手育成体制構築を目指す
2027年	WPDS 公認 TOKYO2031パラダンススポーツ国際大会（第5回） 開催を目標とする	年間を通した国際大会への恒常的選手派遣体制 日本選手権大会の充実		
	2032年brisbaneparalympic (正式種目) 出場	年間を通した国際大会への恒常的選手派遣体制 日本選手権大会の充実		・パラリンピックへの選手派遣を目指す

3, 2023年度 達成目標の確認

① TOKYO2023パラダンススポーツ大会の達成目標

- ・参加国・選手
- ・大会スポンサーの獲得 ———長期的オフィシャルスポンサーへ獲得へ

② 組織力強化としての理事/役員体制への考え方

- ・組織運営体制の強化のための人材の充実
- ・専門性ある人材の確保（指導者・各組織運営に必要とするスキルを持つ人材）

③ 選考会から、日本選抜大会へ向けての考え方

- ・競技人口の獲得
- ・競技指導者の獲得
- ・TOKYO2023を契機として、国内競技者人口の増加を目指すためのアプローチ
→ 多様なダンス団体との交流が不可欠

4, 2024年度 へ向けて

- ① 次世代選手層獲得への具体的提案（ジュニア層の開拓）
- ② 多様なダンス団体との交流
- ③ 世界水準の指導者育成プログラムの確立
 - ・WPDS 公認指導者講習会を日本で開催するための準備
 - ・WPDS 公認審判員育成への準備（費用・人材）
- ④ 助成金の獲得と様々な団体との協業・協力・共催体制の可能性を目指す。